

# 新婦人しんぶん

## 新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

## 今週の紙面

- 2面 岸田政権骨太方針2022/女性ニュース
- 3面 読者のページ/まんが/パズル
- 4・5面 地域移行で中学の部活は?/気候正義って?/ホット
- 6面 節約しながら涼しく/文化情報/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/いっしょにあそぼ!



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



7月10日投開票

# 物価高、暮らし、軍事費倍増 大争点に!

## #選挙に行こう

# 政治を変えよう!



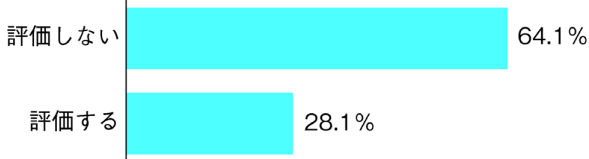
戦争ダメ、消費税下げて!とスタンディング (東京・板橋支部)

同志社大学大学院教授 浜 矩子<sup>のりこ</sup>さんに聞く



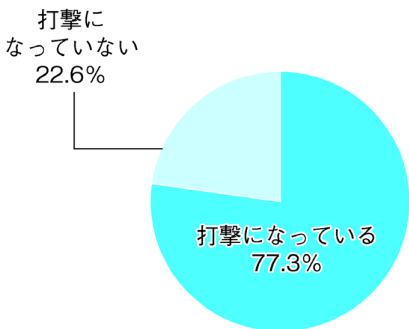
はまのりこ 同志社大学大学院ビジネス研究科教授。専攻はマクロ経済分析、国際経済。近著に『愛の讃歌としての経済』(かもがわ出版)

岸田首相の物価対策 評価しない64%



共同通信(6月11~13日調査)より

物価高騰が生活の打撃 約8割



共同通信(6月11~13日調査)より

**経済を 権力が私物化!?**

食料原料やエネルギー価格の高騰の背景には、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵略など一連の外生要因があります。日本はそれに加えて、大規模な金融緩和などを柱とするアホノミ

「レシートを見てあまりの価格の高さに愕然(がくぜん)」。こんなときに軍事費2倍なんて信じられない」。参議院選挙の大争点になっている物価高、大軍拡などについて、同志社大学大学院教授の浜矩子さんに聞きました。

食料原料やエネルギー価格の高騰の背景には、コロナ禍やロシアによるウクライナ侵略など一連の外生要因があります。日本はそれに加えて、大規模な金融緩和などを柱とするアホノミクス(※)を継承・推進した岸田政権の政策が円安をもたらし、輸入価格を高騰させているという特殊な要因があります。日本銀行の黒田総裁は「ずっと円安が日本の経済にとってプラス材料だ」と言い続けてきましたが、

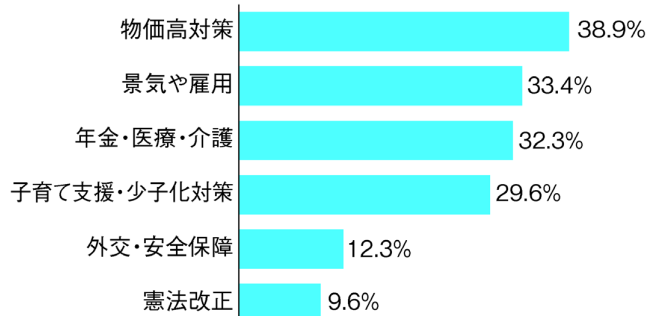
「急速な円安は経済にマイナスで望ましくない」とようやく認めました。それなのになぜ、金融緩和をやめないのか。それは日銀に大量購入させた国債の利回りが上がらないようにする、つまり政府の債務負担を増えないようにするためです。日銀は、政府に忠実に従うことしか考えていないと思えます。日銀が政府の意思通りに動き、経済が権力に私物化されてまう。これはもう政策犯罪です。

## 野党の皮をかぶる 維新や国民民主

世論調査でも物価高への岸田首相の対応に6割を超える人が「評価しない」と言っています。国民はそんなに簡単に丸め込まれていません。そこは心強いところです。

問題は、野党の皮を被っている日本維新の会と国民民主です。彼らは要は与党になりたいんでしょうね。「円安は日本にとってプラスだ」と強い国を支える強い経済をつくることに関心が向いていて、人びとの生活のことはどうでもいいんだと思えます。経済活動とていうのは本来、人間を幸せにするためにあります。それなのに経済政策はつねに成長を追求しなければいけないという発想で凝り固まっている。生産性を上げるとか、国

参院選挙で重視する政策は(2つ選択)



FNN=フジテレビ系(6月18,19日調査)より

2面へ

